

低コスト高信頼性! SWaP-C（サイズ・重量・電力・コスト）を抑えたソリューションを提供

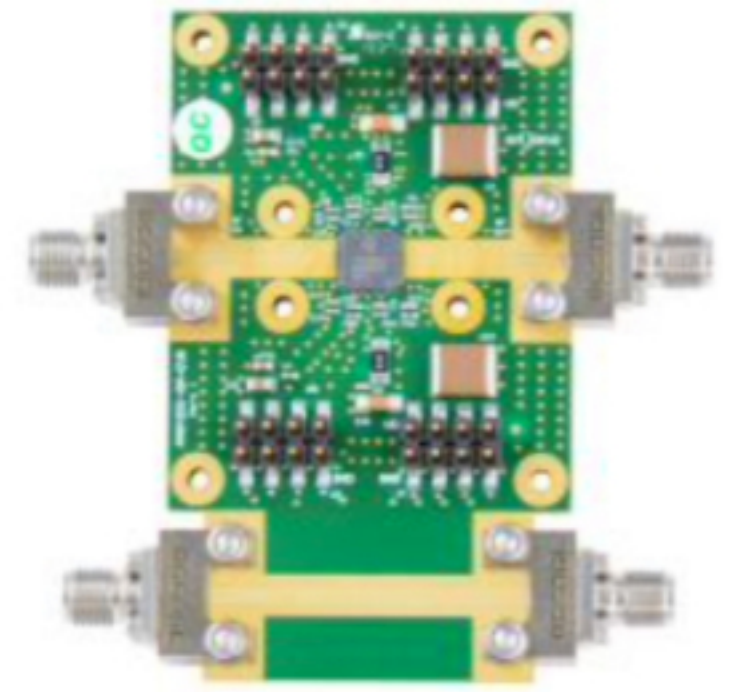
株式会社アイ・エム・シー（代表取締役社長 勝野 功、本社 東京都新宿区西新宿7-21-1 新宿ロイヤルビル）は、この度、シンガポールarQana Technologies Pte Ltd（アルクァナテクノロジーズ、シンガポール、社長Glenn Vandevoorde、以下arQana社）と販売代理店契約を締結し、2020年12月1日よりarQana社製品の販売を開始致します。

2014年シンガポールに設立及び本社を置くarQana社は、R&Dを2拠点（ベルギー、台湾）保有するファブレスとして、マイクロ波及びミリ波アプリケーション向けの集積回路、モジュール及びサブシステムを設計開発しています。同社の製品範囲は、パワーアンプ、ドライバーアンプ、低ノイズアンプ、ワイヤレスインフラストラクチャー、航空宇宙、防衛、衛星通信業界のフェーズドアレイアンテナシステムソリューションを対象とするスイッチ、減衰器、移相器などの制御コンポーネントで構成されています。

設立6年を経てGaAs、GaN、SiGe全製品の評価ボードを確保。ISO9001認定施設を保有しており、主にLEO衛星通信地上局（Ka、Ku帯）用及びPhased Array Radar（S、X帯）用に量産開始するほか、2021年より5G（Sub-6）向け製品（フロントエンドモジュールを含む）を随時リリース予定。DSP Valley、SCF（Small Cell Forum）に名を連ね、SWaP-C（サイズ、重量、電力、コスト）を抑えたソリューションを提供すべく、日本市場に上陸します。

製品ライン

- ・ パワーアンプ
- ・ ローノイズアンプ
- ・ スイッチ
- ・ ミキサ
- ・ ドライバアンプ
- ・ アンプ
- ・ アッテネータ
- ・ フェーズシフタ



特長

- ・ 高信頼性を備え、幅広い市場で使用可能
- ・ 低価格、高性能、在庫が豊富で短納期

主な用途

航空宇宙、防衛、衛星通信、レーダー、ハイエンドな領域及び、電気通信アプリケーションに最適

2020年12月1日より受注、及び販売

arQana TechnologiesPte Ltd

本社 : 5012 Ang Mo Kio Avenue 5 #04-03 Techplacell Singapura 569876

URL : arqana-tech.com

arQana社は、2014年シンガポールに設立及び本社を置くarQana社は、R&Dを2拠点（ベルギー、台湾）保有するファブレスとして、マイクロ波及びミリ波アプリケーション向けの集積回路、モジュール及びサブシステムを設計開発しています。